

永年勤続者表彰

30年	大西唯浩	日坂美千代		
20年	近藤智子			
10年	大西悦子	伊丹浩美	森 由子	竹内優美子
	滝川周治	向井貞子	藤本幸代	吉井まゆみ
	北原行雄	斉藤晴美	大浦利夫	川人さつき
	大下和代			
5年	黒川朝江	森本博昭	西村和代	浦岡美恵子
	藤井和美	西條順子	南 幸子	大谷奈津美
	柳生由紀	日浦明恵	日下京志	古島美智代
	中村美智子			

ここに集いし
博愛仲間



池田学園に「こいのぼり」の寄付ありがとうございました

この度(株)タルミ様(福岡県柳川市)より、こいのぼりを寄付していただき、池田学園にこいのぼりがやってきました!!園庭で優雅に泳ぐこいのぼりの姿に子どもたちも大喜びであり、春の思い出のひとつとして刻まれたことと思います。このこいのぼりと共に、子どもたちが元気に大きく成長することを職員一同願っております。

- 表彰等**
- ★優秀賞(警察本部長・徳島県安全運転管理協会会長連名表彰) 三好市特別養護老人ホーム 長生園
 - ★会長賞(徳島県安全運転管理協会会長表彰) 社会福祉法人池田博愛会 箬蔵山荘 社会福祉法人池田博愛会 特別養護老人ホーム 永楽荘 社会福祉法人池田博愛会永楽荘 デイサービスセンター星
 - ★三好交通安全協会会長表彰 グループホームはくあい

地域交流センター「はくあい」

誰もが尊厳と社会参加が保障され、お互いに地域社会の主役となる共生社会実現に向けた地域拠点、互助、共助、公助の交流拠点としての「地域交流センター はくあい」が竣工しました。



福祉のシンボル塔 竣工 (地域交流センター はくあい)

平成25年8月1日 発刊号



INFORMATION

インフォメーション

募集

小規模多機能ホーム 弥生

「通い・訪問・宿泊」で、安心できる在宅生活の継続をご支援いたします。

サービスを利用される方は、お電話を下さい。

問い合わせ先：池田町州津藤ノ井372-3
☎ 72-0841

募集

永楽荘在宅介護支援センター 訪問介護・訪問入浴事業

ヘルパーと共に、在宅生活を安心して過ごしませんか。

サービスを利用される方は、お電話を下さい。

問い合わせ先：池田町州津西ノ久保273-1
☎ 72-6003

事務所移転のお知らせ

この度、法人本部、グループホームはくあい、就業・生活支援センターはくあい、障害者生活支援センターはくあいは、事務所を地域交流センターはくあいに移転し、7月10日(水)から業務を開始致します。今後共よろしく願い致します。

名称が変更になりました

☆障害者就業・生活支援センター箬蔵山荘は「障害者就業・生活支援センターはくあい」に名称変更となりました。
☆ケアホーム箬蔵山荘・グループホーム箬蔵山荘は「グループホームはくあい」に名称変更となりました。
(平成25年4月1日から施行)

- 落成式 平成25年8月3日(土)
- 建設地 三好市池田町州津滝端1271番7
- 建物概要 構造/鉄骨2階建て、準耐火構造
敷地面積1,249.30㎡/延べ床面積972.62㎡
- 活動内容 地域生活支援
(障害者相談支援、障害者就業・生活支援、CH・GH拠点) 就労支援
(弁当製造販売、学校給食委託、パン販売、軽食喫茶、物産販売) 地域交流
(地域イベント、各種会合、研修・講習会) 法人本部
(法人事務、各種委員会、職員研修)



池田博愛会が創立50周年記念事業として建築していた「地域支援センターはくあい」が竣工しました。この建物には、1階に地域生活を一体的に支援する総合相談センターはくあいと、障害者の就業を支援するお弁当・喫茶のいろどり屋、2階には地域各種行事にも活用していただく大ホールと会議室、そして法人全体を統括する法人本部が入ります。

昭和38年に財団法人池田学園が設立されて50年、社会の要請に応じて、支援を求める障害児(者)、ケアの必要な高齢者への福祉を懸命に担ってまいりました。この

間当法人は池田町と箬蔵地区の多くの皆様に支えられ、施設を利用する方々も地域住民との温かな交流の中で生活することができました。

今、地域社会は人口減少と高齢化の中にあります。当法人が地域と共に歩んできた50年を振り返ると、このセンターを拠点として更なる地域福祉への貢献が求められています。そしてまた、更なる50年に向けて人材の育成とサービスの向上、法人全体の統括と福祉文化の発信をここで進めてまいります。

ほっとかない事業スタート!

障害者が繋ぐ地域の暮らし “ほっとかない” 事業
～何でもお届けいろいろり屋～

4月30日(火) 博愛の里にて、障害者が繋ぐ地域の暮らし “ほっとかない” 事業～何でもお届けいろいろり屋～オープニングセレモニーを徳島県知事を始め、主要機関の関係者をお招きし開催いたしました。この事業は、「障害者の新たな就労場の開拓」と「過疎地域を支える人の確保」の2つの課題を解決するため、過疎地域に住んでいる高齢者の暮らしを障害者が宅配サービスを通じて、生活支援や見守り、話し相手として地域を支える主役となることを目的とします。全国初となるこの事業は、「箬蔵モデル」と位置づけ、同じ課題を抱える全国各過疎地域に先駆けて開始する事になりました。販売品目としては、セルフ箬蔵で製造している弁当、パンを始め、食料品、生活用品一式を販売致します。5月より本格的に営業を開始し、地域の高齢者からも「非常に助かる」「話をしてくれてうれしい」との声をいただいています。



徳島県と見守り活動の協定を締結する

(何でもお届け、いろいろり屋事業活動)

「障害者がつなぐ地域の暮らし、ほっとかない事業」として、何でもお届けいろいろり屋の移動販売事業を開設致しました。

高齢者等が出来る限り住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることが出来るよう、見守り活動協力機関として、徳島県と積極的に協力する事により、地域の方々の見守りネットワークを担う事となりました。

地域活動の向上に寄与することを目的に、協定を交わしました。注文を受け各戸を訪問し、配達業務の範囲内において高齢者等の見守り活動に協力するように努めてまいります。



福祉へ新しい時代の到来

—100年へ新しい第一歩—

今私達は、50年のあゆみの中に福祉への不条理な一面を見つめながら100年に向かって新しい時代の到来を本音、本気、真剣に語ろう、携わる責任を果たそう

1、不条理、理不尽の時代と戦う (50年のあゆみ)

①福祉の現場

- ・措置利用=始末する、処分する 真の人間尊重は何処に
- ・福祉の利用は気の毒、哀れ、見てやる、してやる、上の目線から、劣等処遇
- ・福祉施設の立地条件は山、僻地に設置 官と民の格差
- ・現場業務は閉鎖性、自己満足にあり社会評価になじまない
- ・福祉の一般的理解は薄く社会の目線に屈辱、悲哀を認識する場面に遭遇
- ・福祉業務は大変ですね、ご苦労様の感覚で専門職への認識が希薄

2、新しい時代の到来 (本物の福祉、当たり前社会)

①徳島県の見識を全国発信

- ・障害者が繋ぐ地域の暮らし、ほっとかない事業
- ・障害者が地域を支える主役

②池田博愛会は

- ・地域交流センター「はくあい」の立地、箬蔵の中心地 (小学校、公民館に隣接)
- ・福祉の中核、拠点として ほっとかない活動本部、24時間365日
- ・社会事業の第一線に 高品質サービス、第三者評価、選択、競争の中で
- ・社会復帰、自立支援への専門性と高品質の科学的介護サービスの提供
- ・何でもお届け「いろいろり屋」 移動販売、弁当、パンの製造、喫茶、学校給食
- ・アンテナショップ 三好市の市街において食堂委託事業

③福祉の現場 ※平成12年社会福祉法改正、介護保険法施行を受けて

- ・契約利用=対等 一人の人格者として、本人の意思尊重 人の尊厳、法遵守
- ・個別、自立、自己責任 身近で住み慣れた地域で 生涯安心
- ・本音、本気、真剣で本物を語る 情報の開示、真の復権
- ・福祉文化社会へ 豊かな心とゆとりの心が育まれる生活環境へ
- ・ユニバーサルデザイン、バリアフリー、ノーマライゼーションの社会へ
- ・社会福祉法人は元祖NPO (新しい公共) であり、人が自立してゆける唯一の専門集団
- ・生活は複雑化、多様化、多重化し、サービスを起業するアクションが求められる
- ・何よりも福祉には共感する、分かち合う遺伝子を持っている強みがある
- ・頑張らない、あきらめない粘り強い継続力の発揮

社会福祉法人 池田博愛会



池田学園 創立50周年記念 50年のつどい

平成25年3月29日、池田学園の創立50周年を記念し、「50年のつどい」が行われました。卒業生16名、元職員17名、現在の保護者8名の参加を得、総勢121名の皆様と、50年間のまとめたスライドショーや、記念植樹、バイキングなどを通し、思い出話に花を咲かせました。今後は、世代を超えて楽しい地域に愛される池田学園を築いていきたいと思ひます。

REPORT

池田博愛会 感謝のつどい

池田博愛会創立50周年記念事業感謝のつどい「南ファミリー劇団特別公演」の出演依頼を昨年4月に行ってから、待ちに待った当日がやってきました。

開場時間は17時30分からでしたが、熱心なファンの方が早くから並んで待って下さり、18時30分、320名の観客の拍手に迎えられ「南ファミリー劇団」による「親子橋」の熱演が始まりました。

人情ものに自信を持っていると座長さん、さすがの名演技。客席からはそっと目頭を押さえる観客の方も多く見受けられました。

90分の時間があっというまに過ぎ、劇団員全員で観客のお見送りをしている姿を見て、「地域に根ざす」と言うことは、このような気遣い・心配りから生まれることを再確認させて頂きました。「南ファミリー劇団」の皆様、有難う御座いました。

レポート



演目「親子橋」



劇団員によるお見送り



南ファミリー劇団



第34回 博愛まつり

5月26日「第34回博愛まつり」が開催されました。今年、法人50周年を迎え、地域を挙げて育てられてきた祭りから「地域と共に未来を築こう」をテーマとして、盛大に行うことができました。

結成10周年を迎えました箸蔵連の阿波踊り、婦人会の皆様の踊りに箸蔵混成合唱団の箸蔵福祉村の歌、箸蔵小学校鼓笛隊、各ダンスグループのブレイクダンスやフラダンスが更に祭りを盛り上げていただき、来場者の皆様は笑顔と希望に包まれていました。



阿波おどり



鼓笛隊



ブレイクダンス



フラダンス



合唱団

東日本大震災への義援金として**23,760円**集まりました。徳島県共同募金会を通じて送らせていただきます。ご協力大変ありがとうございます。

報告

グループホーム「フジモトハイツ」改修工事完成



バリアフリー対応のグループホームを立ち上げ1ヶ月が立ちました。バリアフリーにした事で、入浴や移動がスムーズに行えるようになり、利用者様にとっても快適に過ごせるようになりました。また、家庭的な温もりを感じていただけるようにリビングに大型テレビを設置し団らんの場所作りや、個別の居室も完備しプライバシーの面でも配慮しています。利用者様の中には戸惑いが見られる方もいらっしゃいましたが、今では新しい環境にも慣れ、毎日安心して生活されています。

施設の整備事業

箸蔵山荘施設整備事業の進捗状況

昨年度末、株式会社藤木工務店が落札し、3月21日起工式が無事行われました。本年度に入り仮設工事が中庭で本格的に進んでいます。同時に北棟の解体業者の入札が行われ、有限会社ヤマト重機が落札しました。六月より解体工事が始まります。仮設工事は大きなクレーン車が箸蔵山荘の玄関口に座り、施設を乗り越えて機材が運ばれました。パネル工法の組み立てで、あっという間に大枠が組み立てられました。仮設は、厨房と食堂ですが旧館とほぼ同じ間取りで利用者が戸惑わないように配慮しました。後は浴室が配置されますが、大浴室と女性用に個別に入られる小ユニット型を二個設置しています。



いずれも建設工事は危険を伴いますので、事故のないように職員が危機意識を高め、安全に工事が完了し、仮設での生活が不自由に感じられないように注意していきます。

管理職紹介

平成25年4月1日就任の各施設管理者を紹介致します。今後とも宜しくお願いします。



・特別養護老人ホーム 永楽荘
・永楽荘デイサービスセンター 太陽

施設長 前田 孝樹



・ケアハウス 宝珠

施設長 細川 千代



・三好市特別養護老人ホーム 長生園

施設長 北内 久子



・永楽荘デイサービスセンター 月

施設長 橋本 茂章



・永楽荘デイサービスセンター 星
・永楽荘第一在宅介護支援センター
・小規模多機能ホーム 弥生
・永楽荘在宅介護支援センター

施設長 古泉新一郎



・障害者児入所施設 池田学園

施設長 金丸 吉伸



・児童発達支援センター すぎのこ

施設長 川人 裕子



・障害者支援施設 箸蔵山荘

施設長 竹田 公二



・障害福祉サービス事業 セルブ箸蔵

施設長 五島 章夫



・障害者生活支援センター はくあい
・グループホーム はくあい
・障害者就業
・生活支援センター はくあい

施設長 豊田 勝子

